

福井県感染症発生動向調査速報

<<平成18年>>

<週報> 第43週 (平成18年10月23日～10月29日)

発行日：平成18年11月1日

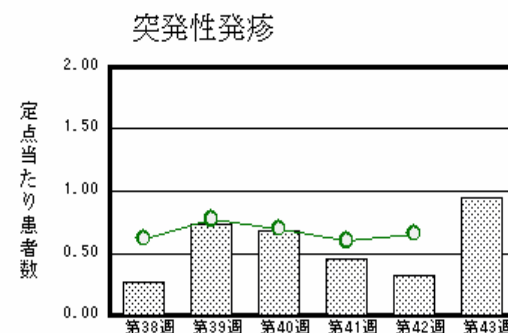
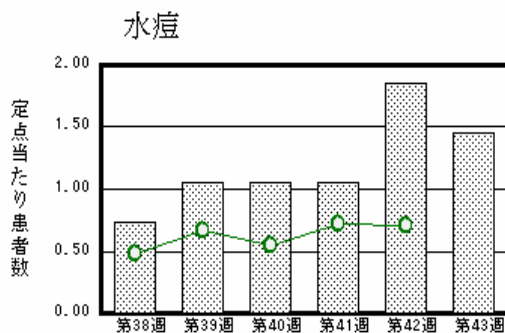
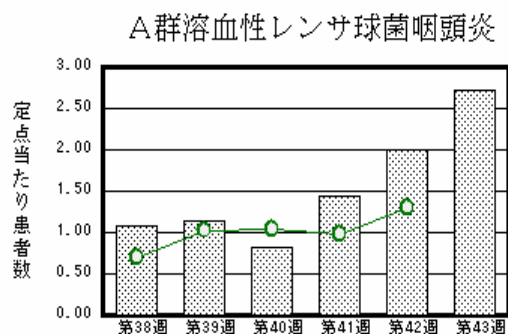
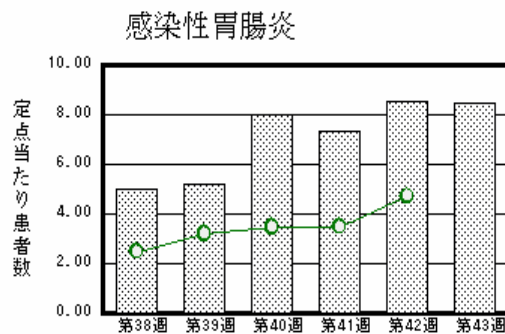
発行：福井県健康福祉部健康増進課

福井県衛生環境研究センター

kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

1. 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎186名(8.45名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎60名(2.73名) 水痘32名(1.45名) 突発性発疹21名(0.95名) 流行性角結膜炎2名(0.67名) 無菌性髄膜炎4名(0.67名) ()内は定点当たり人数
2. 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(186名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(60名) 水痘(32名) 突発性発疹(21名) 伝染性紅斑(7名)
3. 【感染性胃腸炎】報告数は186名です。定点当たり報告数は減少しました(8.55名 8.45名)。地域別にみると奥越地区14.50名、福井地区13.14名、坂井地区6.67名、丹南地区6.20名、二州地区4.67名の順となっています。
4. 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は60名です。定点当たり報告数は増加しました(2.00名 2.73名)。地域別にみると坂井地区6.00名、丹南地区3.80名、奥越地区3.50名、二州地区2.00名、福井地区1.43名の順となっています。
5. 【水痘】報告数は32名です。定点当たり報告数は減少しました(1.86名 1.45名)。地域別にみると丹南地区3.20名、福井地区2.00名、二州地区0.67名の順となっています。
6. 【突発性発疹】報告数は21名です。定点当たり報告数は増加しました(0.32名 0.95名)。地域別にみると丹南地区2.20名、坂井地区1.00名、奥越地区1.00名、二州地区0.67名、福井地区0.43名の順となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2006年第41週号(10月9日～10月15日)要点

発生動向総覧	<第41週> 伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い/その他最新動向 <9月> 性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について
注目すべき感染症	<今週は該当記事はありません>
病原体情報	インフルエンザウイルス2006/07シーズン/感染性胃腸炎関連ウイルス2006/07シーズン/ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2006年
速報	複数の福祉施設が関係したノロウイルスGIIの集団感染事例 - 山梨県
海外感染症情報	コートジボワールで黄熱患者発生/ケニアでポリオ患者発生/インドでのチクングニア流行
感染症の話	<住血吸虫症> ヒトが河、湖、沼などの淡水に入ってから感染し、わが国では輸入感染症としての重要性が高まりつつある

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(福井県)

- 1類感染症:報告はありませんでした。
- 2類感染症:報告はありませんでした。
- 3類感染症:報告はありませんでした。
- 4類感染症:報告はありませんでした。
- 5類感染症全数把握対象:報告はありませんでした。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 平成18年 第43週 平成18年10月23日(月)~平成18年10月29日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(42週)
インフルエンザ (32)	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)									51 0.01
小児科 (22)	RSウイルス感染症									155 0.05
	咽頭結膜熱	1 0.14	1 0.33				3 0.60	5 0.23	6 0.27	786 0.26
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10 1.43	18 6.00	6 2.00		7 3.50	19 3.80	60 2.73	44 2.00	3930 1.30
	感染性胃腸炎	92 13.14	20 6.67	14 4.67		29 14.50	31 6.20	186 8.45	188 8.55	14187 4.71
	水痘	14 2.00		2 0.67			16 3.20	32 1.45	41 1.86	2125 0.71
	手足口病		1 0.33	1 0.33			1 0.20	3 0.14	6 0.27	2473 0.82
	伝染性紅斑			6 2.00			1 0.20	7 0.32	4 0.18	828 0.27
	突発性発しん	3 0.43	3 1.00	2 0.67		2 1.00	11 2.20	21 0.95	7 0.32	1982 0.66
	百日咳			1 0.33				1 0.05		55 0.02
	風しん								1 0.05	11 0.00
	ヘルパンギーナ									348 0.12
	麻しん(成人麻しんを除く)									5 0.00
流行性耳下腺炎					2 1.00	1 0.20	3 0.14	6 0.27	3446 1.14	
眼科 (3)	急性出血性結膜炎		*	*	*	*				16 0.03
	流行性角結膜炎						2 2.00	2 0.67	2 0.67	519 0.82
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								1 0.17	13 0.03
	無菌性髄膜炎	1 0.50					3 3.00	4 0.67		17 0.04
	マイコプラズマ肺炎								1 0.17	275 0.62
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									10 0.02
	成人麻しん									

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。

*欄には定点はありません。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成18年第43週 平成18年10月23日(月)～平成18年10月29日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(高病原性 鳥インフル エンザを除く)	小児科 定点	RSウ イルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満				4	2			1						6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満				22	2		1	13	1					12ヶ月未満								
1歳		1歳		1	6	41	6	2	1	6						1歳		1		1				
2歳		2歳		1	10	20	7			1						2歳								
3歳		3歳		1	8	20	6	1								3歳								
4歳		4歳			6	13	6								1	4歳					1			
5歳		5歳		1	11	16	3		3						1	5歳								
6歳		6歳			7	13			1							6歳					1			
7歳		7歳			4	3			1						1	7歳					1			
8歳		8歳			3	9										8歳								
9歳		9歳		1	1	1										9歳								
10～14歳		10～14歳			3	9										10～14歳								
15～19歳		15～19歳				6										15～19歳								
20～29歳		20歳以上			1	9										20～29歳								
30～39歳																30～39歳		1						
40～49歳																40～49歳								
50～59歳																50～59歳								
60～69歳																60～69歳								
70～79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計		合計		5	60	186	32	3	7	21	1				3	合計		2			4			
前期計		前期計		6	44	188	41	6	4	7		1			6	前期計		2	1		1			
当期間/前期	***	当期間/前期	***	0.83	1.36	0.99	0.78	0.5	1.75	3	***		***	***	0.5	当期間/前期	***	1		***		***	***	***
増減数		増減数		-1	16	-2	-9	-3	3	14	1	-1			-3	増減数				-1	4	-1		

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき